

菊連協 理事 各位  
(写) 各町内会

作成日：令和6年12月9日  
作成者：総務部事務局

## 菊連協 令和6年12月定例理事会 議事録概要

日時：令和6年12月8日(日) 10:00~

場所：菊水地区会館

欠席：佐藤、牧野、小坂谷、市野、大久保、片山

口内の事項が協議した内容結果です。

### I. 行政からの連絡事項 《伊勢所長から》

#### 1 令和7年度町内会・自治会加入世帯等の調査について

連合町内会ごとに調査票を配布いたしますので、1月1日現在での世帯数等を確認して、申告願います。

令和7年度の住民助成金配分などの算定基礎資料となりますので、1月8日(水)厳守でまちづくりセンターへ提出願います。

#### 2 障害者施設による地域連携推進会議についての町内会及び民生委への周知について

令和7年度から障害者の入所施設とグループホームに「地域連携推進会議」を設置し、利用者、利用者家族、地域関係者等との情報交換や施設見学が義務付けられた。地域の関係者の中に、町内会や民生委員が含まれるが、負担軽減の検討をされていることもあり、札幌市からは、構成員となる事については求めない。ただし、自主的な判断でなることは可能です。

#### 3 第50回白石区ふるさとまつりについて

12月12日(木)にふるさとまつり委員会が開催されます。会議では、実施概要予算、負担金等、役割分担(案)とともに、今後の会議予定等が示されます。

尚、第50回白石区ふるさとまつりは、令和7年6月14日(土)札幌コンベンションセンターで開催予定です。

#### 4 その他

##### (1) 北方領土を知る集いの開催について

2月13日(木)の町連協定例会終了後に開催、参加者は各地区連町会長と区女連会長を予定している。各地区で参加者がいる場合は、1月30日(木)までにまちセンへ連絡願います。

- (2) 令和7年民生委員・児童委員一斉改選スケジュールについて  
令和7年民生委員・児童委員一斉改選が行われる。令和7年7月までに候補者の人選が必要なため協力をいただきたい。
- (3) 東部市税事務所の仮移転について  
交通局本局庁舎の大規模改修工事に伴い、東部市税事務所が9月16日(火)に隣接する大谷地アドバンシービル3階に移転しますので、情報提供します。
- (4) 令和6年度パートナーシップ排雪について  
今年度もパートナーシップ排雪を実施します。「生活道路の排雪の札幌市全額負担」は検討中であり、決定事項ではありません。  
希望される町内会は、申請期間内に申し込み願います。
- (5) 令和7年度「行政懇談会」及び「連合町内会長懇親会」の開催について  
行政懇談会：令和7年2月6日(木) 16:00~16:50(予定)  
連合町内会長懇親会：令和7年2月6日(木) 17:00~18:30(予定)  
場所：札幌パークホテル「パークホール」

## II. 議題

### 1 総務部より

#### (1) 蠣崎会長からの報告について

①白石区ふるさと会第4回総務委員会(11月28日(木))の内容について  
菊連協のふるさと会脱退に関し、総合調整連携部会の設置を踏まえた今後のスケジュールについて協議された。スケジュール(たたき台)は資料5のとおり。

② 第1回総合調整連携部会(12月6日(金))開催された内容について  
菊連協に対し提示するふるさと会に関する諸条件について協議された。  
内容については別紙(令和6年度第1回総合調整連携部会 次第)のとおり。

#### (2) 令和7年度菊水地区新年互礼会について

日時：令和7年1月11日(土) 14時~16時

場所：菊水地区会館 2F ホール

当番連町：上町連合町内会

式次第

- ・司会(上町連町)
- ・主催者挨拶(菊連協会長)

- ・来賓紹介（司会者）
- ・来賓挨拶（白石区長）
- ・乾杯（白石区市民部長）
- ・単町会長、単町女性部長紹介（各連町会長）
- ・余興（ビンゴゲーム）
- ・おひらき（東町連町）

関係理事及び当番連町お手伝いの方は 1 月 11 日（土）12 時に集合願います。

(3) 「町内会で抱える課題に関する意見交換会」について

- ・開催日：令和 6 年 11 月 20 日（水）14 時 00 分～15 時 30 分
- 「出席者及び意見交換会」の開催状況は別紙のとおりです。

2. 防災部より

- ・11 月 30 日（土）10 時～ 防災協会の講師を迎え、25 名（各連町 5 名）が参加し、スライド講義、HUG（避難所運営ゲーム）等と通して避難所訓練を実施。
- ・防災備品として、エアマットを各連町（12 セットずつ）へ配布しました。

3. 女性部より 特にありません

Ⅲ、関連団体より

1. 菊水地区会館運営委員会から

- ・12 月 18 日（水）10 時～菊水地区会館役員・委員合同会議を開催します。  
議題～令和 6 年 11 月までの実施状況及び来年度の役員改選に向けて

2. 菊水地区福祉のまち推進センターから 【欠席】

3. まちづくりネットワーク会議から

- ・12 月 4 日（水）、5 日（木）パソコン教室開催に 12 名参加し、大変好評を得た。
- ・12 月定例役員会は中止。1 月は 1 月 16 日（木）10 時～開催予定。

4. 菊水地区民生委員・児童委員協議会から

- ・11 月の子育てサロン 39 名参加、及び青葉保育園より 15 名の参加があった。
- ・11 月役員会に包括支援センターを招き、情報交換を実施。
- ・12 月 10 日（火）クリスマス会を開催します。

5. 菊水地区青少年育成委員会から 【欠席】

次回、令和7年1月定例理事会を1月21日（火）10時～ 如何でしょうか？

・令和7年1月定例理事会は、1月21日（火）10時～とします。

IV. 今後のスケジュール

月 日	曜日	開始時刻	会 議 名 称	開催場所等
12月9日	月	11:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
12月18日	水	10:00	菊水地区会館運営委員会	菊水地区会館
1月7日	火	16:00	白石区新年互礼会	アサヒビール園
1月11日	土	14:00	菊水地区新年互礼会	菊水地区会館
1月17日	金	14:00	総務事務局会議	菊水地区会館
1月21日	火	10:00	菊連協1月定例理事会	菊水地区会館
1月22日	水	10:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館

以 上

部会設置を踏まえた今後のスケジュールについて（たたき台）

11/28 第4回総務委員会 部会設置要綱決定

↓日程調整

12/〇 第1回総合連携調整部会

ふるさと会加入にあたっての手続き及び費用負担などの検討

↓

（総務委員会（書面開催）において上記内容の確認）

↓

条件提示（総務委員会から加入意思確認文書の発出）

↓

～1月中旬 菊水の5 連合町内会から回答の受領

↓

<加入団体数等を踏まえた令和7年度の予算・事業案の作成>

総合連携調整部会（2月）

総務委員会（3月）

役員会（4月）

定期総会（5月）

白石区ふるさと会総務委員会  
令和6年度第1回総合調整連携部会 次第

（ 令和6年12月6日（金）14:00～15:00  
白石区複合庁舎4階 会議室A ）

【協議事項】

○菊水地区の連合町内会に提示する白石区ふるさと会加入、白石区ふるさとまつり参画等の諸条件について

① ふるさと会加入について

～連合町内会が納める会費～

（現在）連合町内会又は連絡協議会の世帯数×20円

② ふるさとまつり参画について

～各地区負担金～

（現在）合計80万円（各地区10万円）

※世帯数（64,573世帯、菊連協含む）で割り返すと12.4円/世帯  
～その他～

協賛金取りまとめ、ボランティアスタッフ選出、まつり委員長（地区持ち回り）

【協議事項のまとめのイメージ】

ふるさとまつり ふるさと会	参画する	参画しない
加入する	会費 ○○  負担金その他 ○○	会費 ○○
加入しない	負担金その他 ○○  ※加入町連と同じ「負担金」と呼ぶのか「協賛金」等の別の名称となるのか	なし

【参考資料】 菊水町内会連絡協議会書簡、予算資料

ふるさとまつり（会計）における協賛金の地区ごとの実績金額

単位：円

地区	第48回実績	第49回実績
白石	853,000	802,000
東白石	515,000	508,000
東札幌	680,000	580,000
菊水	466,000	445,000
北白石	345,000	338,000
北東白石	293,000	400,000
白石東	300,000	320,000
菊の里	245,000	165,000
全体	3,697,000	3,558,000

## 「町内会で抱える課題に関する意見交換会」開催状況

日 時 令和6年11月20日(水) 14時～15時30分  
場 所 菊水地区会館  
出席者 白石区 泉市民部長 秋山土木部長 他  
蠣崎町内会連絡協議会会長 各連合町内会長 他

内は白石区への回答、主な意見等

### 1 「しろいしアクション2024」等について

- (1) 白石区では魅力あるまちづくりに向け「しろいしアクション2024」を定め取り組みを進めているが、町内会活動に関する取り組み状況についてお話をお願いします。

「しろいしアクション2024」抜粋  
目標2～地域のチカラ、魅力の向上」  
運営方針 元気で活力のあるまち～札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい  
～「町内会活動ガイド」の作成や町内会活動の担い手確保の取り組み  
を支援します。

・白石区としては町内会活動支援として、チラシ・ガイド作成支援、ズーム操作の研修会の開催などを行ってきた。今年度の上半期の申し込みは無かったが、防災マップ作成支援や専門家の派遣など地域のニーズにあった支援が行えるので相談いただきたい。今年度事業予定が無くとも来年度に向け町内会活動支援事業を活用いただきたい。

### (2) 地域の課題等(個別事項)について

#### ○ 賃貸マンション入居者の町内会加入促進支援について

- 市条例に管理組合や管理会社への町内会加入等の強制力を発揮するような方法を考えていただきたい。
- 近年新物件については加入率がよくなっているが従来の賃貸マンションについては町内会だけでは対処できない。加入促進には市が所有者及び管理会社等に働きかけていただきたい。  
また、分譲マンションへの働きかけをしているが中々難しく市として何か出来ないものでしょうか。
- マンションに札幌市や町内会で必要なことを知らせるとき掲示板が少ないところがあります。不便で壁にははりづらい。町内会掲示板を出来たらお願いしたい。



・町内会加入については判例にあるように強制力を持つものではない。本州では入会料や退会料の徴収、ごみステーションの使用制限などを行っているところもあると聞いているが、地域の事を公平な負担の元で行うことは大事なことであり、町内会の必要性を訴えていくしかない。

・市としては、不動産事業者に対し町内会加入に関する要請事項をハンドブック(支え合いハンドブック)にまとめ配布している。区としても不動産事業者にあたっているが反応は薄いことから本庁に対しても不動産事業者への働きかけを訴えている。

・また、一定の要件の元、地域に協力されている企業などを認定する「さっぽろまちともパートナー企業認定制度」があり、不動産事業者・ディベロッパーなど14団体を認定している。

・町内会掲示板については、昨年も要望されているが、民地に掲示板を設置するのは難しいものと考えている。北広島市ではイオンの入り口に地域情報を掲示しているが、今後地域の行事なども掲示できればよいと考えている。

・若い世代であればネットの活用が考えられるが、既に保健所などでは若いお母さんなどに対しスマホを通して情報を伝えている。

[町内会加入促進にあたっては、本庁で進めているとの説明があったが、区に降りてきたものについてはどのように取り組まれているのか見えてこない。どのような動きをされているのか。]

・不動産業者を回っているが反応が悪く、町内会加入の意識をもっと浸透させていかなければならないと思っている。

[新築の賃貸マンションについては、建築段階から連絡があるので加入率が高くなるが、古くからあるもので大手の管理会社が係わっているものは末端の窓口まで情報が伝わっていない。札幌市が結んでいるパートナー制度さえ知らないところがある。行政としてどのように落とし込んでいくのか。それが分からなければ町内会として動きようがない、区として取り組みの強化が出来ないものか、是非お願いしたい。]

・白石区としても認識しているが地道に取り組んで行くしかないと考えている。

[町内会に係わる問題対応について、区役所の中に相談を受ける窓口を設置することは出来ないか。まちセンでは業務も多忙であり対応は難しい。町内会活動に伴う諸問題を相談するにしてもたらい回しもあり手間がかかる。区の中で対応にあたってのネットワークが出来ていないのではないか。窓口があれば町内会活動のなり手不足の中で仕事の軽減が図られる。 ]

## ○ 町内会活動のなり手不足について

- 町内会への若者の協力が少なく、将来の活動が心配。夏まつりも若い人達のボランティアやアルバイトを使って何とか開催している。金銭的な支援をお願いしたい。
- 昨年12月の意見交換会において、退職職員に対する研修会においての町内会加について働きかけをすとの説明があったが反応はどうでしょうか。
- 8月24日(土)の道新によると、本年度市が町内会と若者を結ぶマッチング事業を試行的に実施するとあるがどのようになっているでしょうか。

・白石区ではマッチングモデル事業は実施していないが、若者がネットワークに登録し地域の事業に参加するものであり、全市で21名が登録している。令和6年度は豊平区、中央区の地域イベントに参加している。手稲区ではネットワーク登録者がクリスマスイベントを企画している。また、「白石ふるさとまつり」では専門学校の生徒がファミリーマートでの発売を前提にスイーツの商品開発販売を行った。検討している事業があれば区として関係者とのつなぎは行うので相談されたい。

・職員に対する研修については説明会でアンケートを行い、町内会活動に時々参加するとした者が6割であった。また、新規採用職員に対しては研修の中で条例の趣旨や町内会活動について説明している。

[担い手不足に関して、イベントなどには人は集まるが、就業年齢の高齢化、共稼ぎ世帯の増加に伴い事務処理をはじめ運営にあたるスタッフが不足している。有償などにより人材の確保は出来ないものか。]

・他の区では遠町による職員の雇用や会館の管理人の業務として事務を担っているところがある。また根本的な解決策とはならないが、事務のスキルを持った在宅主婦をパートタイムとして受け入れる事も考えられる。

課題は無償でボランティアとして活動している町内会役員などとの不公平感や長期間従事が難しいことがあげられる。

## ○ その他

災害時の避難経路の安全確保をお願いしたい。電柱の撤去、倒壊の危険がある家の補強等、我々が取り組むべき問題は多数存在していると思いますが対応等について伺います。

・電柱については、12号線など人通りの多い幹線道路などを優先し、計画的に地中化を進めている。

木造住宅については耐震化診断制度があり年3回(4. 5. 9月)募集を行っている。また補強については助成制度がある。

## 除排雪対策について

### (1) 「パートナーシップ排雪制度」の見直し等について

生活道路の除排雪については、平成4年から「パートナーシップ排雪制度」を開始し、除雪事業者との調整や手配等については市が行い、費用の一部を地域・町内の負担により行われています。負担についてはここ数年据え置かれているが町内会の負担単価が高騰し町内会の予算に占める排雪費の割合は大きなものがあります。

このような中で、札幌市においては本年度「持続可能な生活道路排雪の在り方検討会」を設置し今後の方向性を検討されているところであり、「パートナーシップ排雪制度」の見直し案を11月にも示すと報道されたところであります。

つきましては、検討会におけるこれまでの議論の状況や今後のスケジュールについて伺います。

・検討会について雪対策室に確認したところ、これまで2回委員会を開催し

①パートナーシップ費用負担の増②除雪従事者の高齢化による担い手不足、について議題とした。本日、3回目の委員会を開催し①シーズンを通じた道路環境の整備②除排雪手法の提案③白石区を含む3区4地域での試験施行を議題とし議論しているが、限られた予算・体制の中でどのような作業が可能なのか来年度以降も継続して議論していく。ここ1~2年で除排雪方法の大幅な変更は考えていないが、検討会での意見を受けあり方検討を継続し、試験施行の成果を発信しながら市民議論を深め検討していきたい。

〔排雪費の負担金が無くなるような報道があるがどうなのか〕

・負担の軽減については検討会委員の中から出た話で結論が出ているものではなく検討を進めているだけであり、1~2年は今の制度を続ける中で議論を深める。新聞、ネットの情報は先走ってる。

・パートナーシップの負担金については令和3年度の金額に据え置いている。

## (2) 地域の課題等(個別事項)

- ・ パートナーシップに重点が置かれるも除排雪が歩道まで徹底されていず、通勤、通学の住民が大変苦勞されている。市の予算を増やし、安心、安全に生活できるようお願いします。
- ・ 近年の人手不足及びトラック等の燃料高騰など来年度以降パートナーシップ排雪を今年の金額で維持で出来るのでしょうか。

・ 歩道の除雪の要件としては歩道除雪機が走行可能な有効幅2m以上であり、除雪した雪を積むことが出来る余裕があること、公共施設や歩行者が多い所となっている。また、予算を増やしても使用する機材や人員の制限があり今以上に増やすことは出来ない。

[河川敷の排雪場所は今年も確保されるのか。]

- ・ 今年も継続する。

[住民でトラックを所有し排雪に使っているが、近隣の札幌市指定の排雪場所は使用できないのか。]

- ・ 一部の地域のみ認めることは出来ない。

## (3) その他

[白石区内では町内会加入率が40%台のところがあるが区としてどのようなアクションを起こしているのか。]

- ・ 難しい課題である。菊水では加入率が高く、ローラー作戦や時間をかけて取り組んでいると承知しており、ノウハウを伝授していただきたいくらいである。

[貸駐車場設置事業者に町内会加入を働きかけ、6カ所のうち3カ所が了承した。他の連町などがどのような課題を持っているのか取り組みを含め情報が欲しい。]

- ・ 白石区内では法人として加入は少なく4カ所程度と承知している

[意見交換会について、出来れば来年度もお願いしたい。～嶋崎会長]